

第19回全日本ハイシニアソフトボール大会

京都府予選 実施要項

- 1、主 催 京都府ソフトボール協会
- 2、主 管 宮津市ソフトボール協会
- 3、協 賛 ダイワマルエス株式会社
- 4、期 日 令和 6年 6月29日(土) 予備日 6月30日(日)
- 5、会 場 宮津運動公園グラウンド 宮津市字上司297 0772-25-0158
※予備日6月30日(日)については、会場変更予定
- 6、参加資格
 - ① 2024年度(公財)日本ソフトボール協会に、京都府ソフトボール協会より加盟登録を完了したハイシニアチームであること。
また、各支部協会より推薦されたチームであること。
 - ② チームの中に公認コーチ・公認スポーツ指導員の有資格者がいること。
また、大会当日資格等の提出を求められた際、提出できるよう持参をすること。
- 7、参加チーム数
 - 1 各支部協会からの出場チームは、原則1チームとする。
 - 2 同大会の昨年度優勝・準優勝チームは、シード出場を認める。
 - 3 大会主管協会より別に1チームの推薦出場を認める。
 - 4 京都府協会が特別に認めた推薦チームの大会参加を認める。
 - ①(公財)日本ソフトボール協会に登録チーム数の多い支部協会。
 - ②数多く出場し常時上位にランクされたチームの推薦。
 - ③ここ数年優秀な選手を育成したチームの推薦。
 - ④各支部協会より、4チーム以上の出場は、認めない。

(注) なお、希望チームは、予備チームとして締切りまでに申し込んで下さい。
但し、出場出来ない場合もあります。
- 8、チーム編成
 - ① 監督 1名、コーチ 2名、スコアラー 1名、選手25名以内。
 - ② 監督・コーチ・スコアラーが選手を兼ねる場合には、選手欄にも記入し登録のこと。
申し込み以降のメンバー変更は、認めない。
 - ③ スコアラーとしてのベンチ入りは、公式記録員の有資格者のみ。
- 9、競技規則 2024年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールにより行うが、一部特設ルールを設ける。その他、特別の事態については、大会本部が決定する。

- 10、試合方法
- ① 7回戦トーナメント方式。但し、時間制限を採用し、試合開始から90分を超えて新しいイニングに入らない。最終回終了時、同点の場合、次の回から2回を限度にタイブレークを採用し、それ以降は抽選で勝敗を決定する。
 - ② 決勝戦は、7回または90分を超えて同点の場合、次の回からタイブレークを採用し勝敗を決定する。
 - ③ 5回以降7点差以上の場合は、全試合にコールドゲームを採用。
 - ④ 優勝チームを、京都府代表チームとし、全国大会出場権を与える。
 - ⑤ 上位2チームを京都府代表チームとして、近畿大会出場権を与える。
 - ⑥ 3位決定戦は行わない。（準決勝で優勝チームに敗れたチームに与える）
 - ⑦ 参加チーム数によっては、試合方法の変更及び大会日程の変更もある。
- 11、使用球 (公財) 日本ソフトボール協会検定 ゴム3号球 (ダイワマルエス(株)製)
- 12、用具等 大会に使用する用具は、すべて2024年度(公財)日本ソフトボール協会オフィシャルルールによる用具を使用する。
- 13、参加料 1チーム ￥15,000円
参加料については大会当日のチーム受付の際、大会本部にて受付させていただきます。
- 14、審判・記録 審判員・記録員は、京都府ソフトボール協会所属公認審判員、及び、公式記録員。
- 15、傷害処置 選手が、試合中に傷害を受けた場合は、主催者は、応急処置のほか、一切の責任を負わない。
(参加者は、健康保険証を持参のこと)
- 16、申し込み方法
出場資格を得たチームは、別紙関係書類に必要事項を明記の上、[各支部協会の事務局よりメールで京都府ソフトボール協会に6月14日\(金\)までに必着するように申し込むこと。](#)
〒601-8047 京都市南区東九条下殿田町70
京都府スポーツセンター内 京都府ソフトボール協会
[メール: softball@r2.dion.ne.jp](mailto:softball@r2.dion.ne.jp)
第19回全日本ハイシニアソフトボール大会京都府予選 宛
- 17、組合せ抽選 組合せ抽選は、6月17日(月)午後7時より、宮津市ソフトボール協会事務局にて、主催者及び主管協会立会いのもと、代理抽選を行う。
- 18、主管協会 〒626-0033
宮津市字宮村1143-3 宮津市ソフトボール協会事務局
事務局(理事長) 高垣 秀雄 090-1485-2198
一般部長 林 志郎 090-3271-0980
審判委員長 齊藤 広宣 090-7481-0461
※ 中止決定 当日 午前 7時00分

20、その他

- ① 各チームは、試合予定1時間前には、大会本部において受付をすること。
指導者資格有者は、資格証と身分証明（写真入り）と併せて受付時に確認させていただきますのでよろしくお願いします。
- ② 出場チームは、必ず監督（引率責任者がいる場合は引率責任者）によって引率され、監督・引率責任者はすべての行動に対し責任を負うものとする。
- ③ 全日本大会で棄権したチームの取扱いについては、以下の通りとする。
棄権チームに対する処置：当該年度及び次年度の公式試合の出場停止
※組合せ抽選終了後の出場辞退も大会期間中の棄権とみなし、上記と同様の処置とす。
棄権チームに対する処置は、日本ソフトボール協会倫理委員会で審査し、日本ソフトボール協会理事会で決定する。
- ④ 大会参加申込書は、手書き又はパソコン等で作成し明確に記入すること。